

とよなか国際交流センターおしらせ

VOL.96 とよなか国際交流センター広報誌 2017年4月



「満開の桜を見るのが待ち遠しいです」 平井葉月（大阪府立桜塚高校2年生）

とよなか国際交流センターからのおしらせピックアップ

問合・申込 とよなか国際交流協会（指定管理者） ☎06-6843-4343（水曜、年末年始を除く毎日、9:00~20:00）

2017「学びほぐし」シリーズ「あたりまえ」に対抗する“ばづくり・ひとづくり”実践者セミナー～オキナワ編

みなさんは“オキナワ”と聞いてどんな事を思い浮かべますか？白い砂浜？青い海？それとも辺野古や普天間などの基地問題でしょうか。現在、私たちがテレビなどで見聞きするオキナワは、オキナワを部分的にしかとらえていません。バラエティ番組ではタレントが鮮やかなシャツを着てビーチを歩き、報道番組では基地のゲート前での抗議活動を映し出しています。もちろん、それらもオキナワの一つの姿ですが、はたしてそれがオキナワのすべてでしょうか。今回は2017「学びほぐし」シリーズ～「あたりまえ」に対抗する“ばづくり・ひとづくり”実践者セミナー～オキナワ編と題して、実際にオキナワに関わったり、オキナワの問題に通じるさまざまな方をお呼びして話を伺い、テレビとは違う角度からオキナワを知り、まなびほぐします。

【第1回】5/2（火）13:00~15:00

「イラク帰還米兵が見たオキナワ

～Study War No More」

講師 アッシュ・キリエ・ウールソンさん

【第2回】5/20（土）13:00~15:00

「アメリカントーク」

日本とアメリカにルーツを持つ当事者
によるパネルディスカッション

【第3回】5/27（土）13:00~15:00

「沖縄が歩んできた道」（仮題）

講師：岸政彦さん（立命館大学）

（※参加費は記載がないものは無料、場所は、記載がないものはすべてとよなか国際交流センターです）

ご報告

「大規模災害時における外国人支援～今後のめざすべき方向とは」報告

これまでの大震災を胸に刻むとともに、その惨事を教訓とするために、協会は豊中市と大阪大学大学院国際政策研究科と大阪府国際交流財団との共催で3月11日（土）に、多文化共生フォーラム21「大規模災害時における外国人支援～今後のめざすべき方向とは～」を開催しました。

冒頭に黙とうを捧げ、主催者を代表して豊中市人権政策課の高橋課長から挨拶がありました。そして、この日のためにわざわざ南三陸から駆けつけてくださった佐々木アメリカさんからは、東日本大震災の経験から、様々な視点で外国人としての戸惑いや不安、そしてフィリピンコミュニティの活動等についてユーモアを交えながら、たくさんの貴重な語りを聞くことができました。その後、TIFA代表の葛西さんからは阪神淡路大震災時の「外国人被災救援委員会」の立上げと市民のネットワーク力で行った救援活動について、そして協会常務理事の金から熊本地震視察とそこで学んだことの報告がありました。最後に佐々木アメリカさん、塚本さん（大阪大学未来共生イノベーション・プログラム特任教授）、吉川さん（大阪府国際交流財団）をパネラーとして「豊中における外国人支援のあり方を考える」パネルディスカッションがありました。吉川さんからは広域連携や多文化マネジメントの必要性が語られ、塚本さんは多言語による正確で速やかな情報伝達の重要性とそれを可能にするアプリの開発と活用について語られました。

フォーラム終了後に、豊中市との協定書締結（2月28日）に続き、協会と大阪大学大学院国際公共政策研究科との協定書の締結式が行われました。今後は、豊中市や大阪大学とともに支援に必要な具体的体制や計画を協議しつつ、地域住民の緩やかなネットワークを紡いでいくことを進めていきます。



佐々木アメリカさん



協定書締結式のようす
右：大阪大学大久保科長
左：松本理事長

ご報告

「多文化共生推進事業」：外国人のための日本文化体験活動を実施しました！～茶道&武道のご報告

<茶道編>とよなか国際交流センターには和室があり、茶道のための細かな道具もあるので本格的な茶の湯を体験することが出来ます。3月4日（土）「外国人のための茶道体験」を行いました。講師の方の丁寧な指導のもと、茶道に通じる和室での挨拶や居住まいも体験しました。また、月1回「とよなかにほんご木ひる」では日本語交流活動のあと学習者とボランティアが茶道を通して交流を行っています。

<武道編>2016年度より、豊中市スポーツ振興事業団「侍プロジェクト」との共催で外国人のための武道体験を実施しています。空手と剣道に続いて、3月12日（日）は合気道体験で、外国人の参加

者とボランティア合わせて22人が参加しました。講師（師範）のご厚意で刀根山にある道場へ伺いました。抹茶のおもてなしを受けたあと、ピンと張りつめた空気の中「合気道」の体の動きや「自然体」の構えなどを優しく教えていただきました。参加者の戸惑いながらも真剣に習う様子や外国人とボランティアが道場への道々お話しする素敵な時間がありました。



茶道体験の様子



合気道の様子

各地より

「少しだけ北の国から～ふくしま@辻より」

協会事業（哲学カフェ、プロジェクト“さんかふえ”等）に参加していた辻明典さんが、2013年度より故郷である福島県南相馬市に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

<手向けられた花>

今年の3月11日は、仙台におりました。14時46分、町にサイレンが鳴り響くと、歩いていた人たちは自然と立ち止まって、海の方角を向き直し、静かに祈りを捧げておりました。多くの人たちが一斉に、じっと祈りを捧げる時間は、よくよく考えてみると、稀なことのように思います。それだけ、大きな災害に見舞われた土地には、弔いの所作が深く編み込まれているのでしょうか。

その翌日、なんとなしに海を眺めてみたくなり、友人と連れ立って、浜辺をまわっておりました。いつもより少しばかり荒い波を見聞きしながら、砂浜を歩いていると、渚に手向けられた花を見つけました。



波がぎりぎり届かない、陸と海とのちょうど境目に、手向けられていた花。きっとこの花を供えた人は、亡くなられた方々が、ほんの少しでも長く花を愛でられるようにと、この場所を選んだのでしょう。ここにはいない誰か向けられた、小さな花と、弔いの気持ち。渚で花を手向けた人に思いを馳せながら、私も掌をあわせました。

ご報告

講師派遣事業のご報告

センターでは学校や団体などからの要請に応じてスタッフを派遣し、様々なテーマで講演活動を行っています。センター職員やセンターにかかわる外国人が講師として、今年度はのべ64件、126人が出講しました。

「国際女性デー」である3月8日、静岡市女性会館で開催されたシンポジウム「国際結婚した外国人女性が直面する課題」に協会職員の山根が登壇しました。シンポジウムでは、国際結婚によって外国人の女性が抱える課題や問題（子育てに関する悩み、DV問題、協議離婚問題）などを具体的な事例を交えてお話ししました。また、それらの課題に対して、多言語による相談サービスのほか、「おやこにほんご」をはじめとする日本語交流活動、多文化保育「にここ」といった事業がどのように横断的にかかわっているのか、センターの事業を紹介しました。他の登壇者からは県内の学習支援の事例や支援の重要性についてや、在日フィリピン人の事例を中心に外国人の高齢化への問題提起などがあり、とても有意義なシンポジウムでした。



静岡新聞にも掲載されました！

ご報告

事業評価会を開催しました！

2017年3月25日（土）10時～12時、当センターにて「2016年度とよなか国際交流協会事業評価会」を実施し、協会ボランティア、職員、役員、関係者等、58人が集いました。30近くある協会事業には約400人の市民ボランティアをはじめとする様々な人が関わっています。毎年度末に1回実施している事業評価会は市民参加型で、各事業からボランティアが参加して活動を振り返りながら発表をします。今回も協会事業について参加者全体で共有し、現状や次年度へ向けての方向性、展望を確認することができました。



事業評価会のようす

事業評価会終了後はランチ交流会です。食事の前に、参加者が円になり自己紹介とワークショップを2つおこなってウォーミングアップをしたおかげで、和やかな雰囲気の中で食事ができました。今回の事業評価会とランチ交流会も、普段なかなか会うことのない、他の事業ボランティアや関係者同士が交流する貴重な機会となりました。



なんぢゃ・カンチャ・言わせてもらえば（第96回）

「これからの人生」

皇甫康子（ふぁんぼ・かんぢゃ）

2017年酉年がスタートして、すぐに60歳になりました。今日は昨日の連続で、年齢のことなど無自覚にすごしていたのですが、これではダメだなと今後のことを考えはじめました。70歳になった夫は無年金で私の扶養家族になって久しいのですが、日本に生まれ育った外国人の不遇を思い知らされています。いったいこれから何年生きるのか。病気になったら、子どもにかけた教育費の返済を迫るしかないか。あれこれ、考えていると「人間いつ死ぬかわからない。やりたいことをやろう」と短絡的になってしまいます。

そんなとき、久々に観た映画が「ラ・ラ・ランド」でした。ハリウッドで女優を目指す女性とジャズピアニストの男性が出会い、お互いの夢を叶えるミュージカル映画です。渋滞の車から多様な人たちが踊り出し、大群舞となるオープニングは圧巻です。映画の所々に、タップダンスやデュエットダンス、どこかで聞いたことのある切ない旋律に心が揺さぶられます。

そして、ようやく見ることができた「この世界の片隅に」は、あっという間の二時間でした。1944年から45年の広島、呉を舞台に、戦争によって普通の生活をどんどん奪われていく人々の様子が

怖いぐらいに淡々と描かれています。全てにおいてゆっくりで、ぼーっとしている、18歳のすずは絵を描くのがとても好きです。そんなすずの大切な人たちは、戦地で、爆撃で、焼夷弾で、不発爆弾で、原子爆弾で次々に亡くなっていきます。ついに、すずの右手も吹き飛ばされ、その手を握っていた幼い姪は死んでしまいます。自らも傷つきながら、罪の意識にさいなまれ、生きる希望も打ち砕かれる日々。それでも戦争は終わり、昨日は今日になり、明日に続きます。8月15日の無条件降伏の放送を聞いた後、外には韓国の旗、太極旗（テグッキ）が誰かの手によって掲げられていました。「私の体は外国から来た米や大豆でできている。だからこんな暴力にも屈さねばならないということか。ああ絵ばかり描いていた無邪気な私のまま死にたかった」とつぶやく、すずの姿が印象的でした。

独りぼっちになった女の子との出会いが、すずを再生させ、生きる希望になって映画は終わりました。この映画が若い人たちに受け入れられ、大ヒットになっていることがうれしいです。映画に登場する日本人は、みんな良い人ばかり。こんな善良な人たちが、侵略戦争に加担し、加担したという意識もなく多大な被害を受けました。貧しい人たちが増え続

けると、改革への原動力となりますが、その怒りが利用され外国人を迫害し、排外主義的な独裁政権が生まれ、戦争が引き起こされます。平和を推進していけるリーダーを育て、選ぶのは市民、国民ですが、外国籍だとその権利もありません。

市民的権利とは、そこに住む人たち全員を含めたものだと思うのですが、制限を受けた中で生きている外国人が日本に多く住んでいることを知ってほしいなと思います。それぞれの価値観を出し合うことによって、すてきな明日になる。そんな思いを抱きながら、二つの映画のシーンを思い返していると、これからどんな人生の目標を持つのか、考え実行することこそが大切なのだと気がつきました。やりたいこと、できることをしてこうと意欲が湧いてきます。

気になる映画は、まだまだたくさんあります。これからは、いつでもシニア料金が映画を観ることができるのです。60歳になるのも悪くありません。

とよなか国際交流センターの事業について

定例事業 (以下すべて参加費は無料です)

国際交流に関する情報の収集および提供事業

センター内の「ふれあい交流サロン」にて、子ども、おとな向けの書籍をお借りいただけます(多言語絵本もあります)。また、様々な媒体で定期的に日本語、多言語で情報発信を行っています。

国際理解推進事業

子ども、おとなを対象とした多文化共生・国際理解の勉強会を随時行っています。「おまつり地球一周クラブ」「市民セミナー」「世界を食べよう」「多文化・多言語セミナー」等

在住外国人に対する支援事業

「子ども母語」 第2・4日曜日10:00~12:00

・母語学習(中国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語)を通じて仲間づくり、居場所づくりをしています。幼児・小学生・中学生・高校生が参加しています。スタッフも外国にルーツをもつ学生です。

「学習支援サンプレイス」日曜日13:00~15:00※第1日曜除く

・日本語と学習支援の活動を通じて子どもたちの居場所づくりをしています。小学生・中学生・高校生が参加しています。ボランティアは大学生で、外国にルーツをもつ大学生ボランティアも多数参加しています。

「多文化保育にこここ」 木曜日13:30~15:30、金曜日10:30~12:00

・外国にルーツを持つ就学前の子どもたちが、さまざまな人と出会い、社会性を身につけるづくりをしています。他…

在住外国人に対する相談事業

夫婦関係DV、在留資格、行政手続き、医療、労働、教育、子育て、人間関係等、何でも相談できます。面談でも、電話でもOK。秘密厳守!

毎週金曜日11:00~16:00 (電話06-6843-4343)

対応言語:フィリピン語・タイ語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・英語・ネパール語・ポルトガル語・日本語

国際交流活動への住民の参加促進事業

留学生ホストファミリー事業ほか、日本語交流活動にも数多くの市民がボランティアとして参加しています。

日本語交流活動

「もっともつつかえるにほんご」 月曜日10:00~12:00
 「とよなかにほんご・木ひる」 木曜日13:30~15:30(保育活動あり)
 「とよなかにほんご・金あさ」 金曜日10:30~12:00(保育活動あり)
 「にちようがちゃがちゃだん」 日曜日10:00~12:00※第1日曜除く

地域の外国人とボランティアが出会い、日本語交流を通じて生活に必要な日本語を学び、豊かな人間関係を築く場をつくっています。

「おかまち・おやこでにほんご」(場所:岡町図書館)
 「しょうない・おやこでにほんご」(場所:庄内図書館)
 「せんり・おやこでにほんご」(場所:千里図書館)
 火曜日10:00~12:00

乳幼児を抱えて家にこもりがちな外国人女性が子どもを連れて安心して集い、交流・情報交換ができるママづくりの場を図書館の協力のもとで実施しています。運営ボランティアも子育て中の女性です。

…その他、市民参加型のイベントや人権や多文化共生に関する講座、対話の場なども実施しています。また、ボランティアについてのお問合せや国際交流団体の運営相談にも随時対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

施設管理に関する業務 : 貸室について

★駅前で便利!★ 会議やイベントにぜひご利用下さい。
 センター貸室使用申込み…受付時間:開館日の午前9時から午後8時まで
 会議室、料理室、音楽・健康づくりルーム、和室、プレイルーム、ギャラリーを初めてご使用になる場合は、事前の登録が必要になりますので、お問合せ下さい。

とよなか国際交流センター貸室使用料金表

部屋名	広さ (m ²)	定員 (人)	料金 (円)				設備
			午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	全日 9:00~21:30	
会議室 1	41	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(小)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室 2A	34	21	480	600	520	1,600	
			2,400	3,000	2,600	8,000	
会議室 2B	65	48	840	1,120	1,000	2,960	
			4,200	5,600	5,000	14,800	
会議室 2C	33	21	440	560	520	1,520	ホワイトボード(2ABC2BCを一室として使用する場合は不可)
			2,200	2,800	2,600	7,600	
会議室 3	55	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(大)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室 4	63	30	840	1,080	960	2,880	ホワイトボード(小)、流し台
			4,200	5,400	4,800	14,400	
会議室 5	27	12	360	480	400	1,240	ホワイトボード(大)
			1,800	2,400	2,000	6,200	
和室	38	18	480	680	560	1,720	10畳
			2,400	3,400	2,800	8,600	
ギャラリー	18	-	240	320	280	840	壁画ガラスケース、ピクチャーレール
			1,200	1,600	1,400	4,200	
プレイルーム 1	57	20	880	1,160	1,040	3,080	子ども用トイレ
			4,400	5,800	5,200	15,400	
プレイルーム 2A	43	15	680	880	760	2,320	子ども用トイレ、畳(一部)
			3,400	4,400	3,800	11,600	
プレイルーム 2B	52	18	800	1,040	920	2,760	子ども用トイレ
			4,000	5,200	4,600	13,800	
音楽・健康づくりルーム	113	40	1,480	2,000	1,760	5,240	アンプ/マイク/必要な機材の費用は各使用者負担)、ビデオ、カセット、CD、MD、マイク、壁面鏡、更衣室(ロッカー、洗面台)
			7,400	10,000	8,800	26,200	
料理室	90	30	9:00~13:00	13:30~17:30	18:00~21:30	9:00~21:30	調理台6台のうち昇降式調理台2台、準備室(ロッカー、洗面台、ホワイトボード)
			1,720	1,720	1,560	5,000	
			8,600	8,600	7,800	25,000	

備考 1. 2区分にわたって継続して使用するときの使用料は、それぞれの区分の料金の合計額とします
 2. 料理室の使用区分のみ、料理室枠内の記載時間とします
 3. 上段:国際交流目的で使用するときの料金(内容審査あり)、下段:その他の活動で使用するときの料金
 4. 使用時間には、準備、後片付けの時間を含まず(時間厳守)
 5. 鍵は時間の5分前からお渡しができます。その際「使用承認書兼領収証」を必ずご提示ください

国際交流の活動を応援します!

登録グループ制度についてのご案内

とよなか国際交流センターでは「登録グループ制度」を設置し、国際交流の活動に組織的かつ継続的に取り組む方々の自主的な活動推進のための支援を行っています。

登録グループへの支援内容(一部)
 ・国際交流目的で貸室を毎月2コマ(午前・午後・夜間のいずれか1室につき1コマ)まで無料で使用できます。
 ・センター内の掲示板で情報提供できます
 ・印刷機が無料で使用できます(紙は要持ち込み)

・センター内のロッカーが無料で利用できます。…など
 その他、登録グループになるための要件、登録後の役割等については「登録グループ制度要項」に詳細に記載しています。豊中市のウェブサイトからもダウンロードできますので、ご関心のある方はご覧下さい。https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/kokusai/tourouguru-pu.html
 もしくは、当センターの受付でも入手可能ですので、お問合せ下さい。

「登録グループ活動紹介」の冊子をセンター受付にて無料配布中です



～地域や学校での国際理解教育にお役立て下さい!～

各国の民族衣装などを貸出します!

豊中市の公的機関は貸出料無料! 詳細はHPもしくはお電話にてお問合せ下さい。

【お問合せ】 TEL 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

とよなか国際交流協会(指定管理者) Facebook! 毎日更新中! 「公益財団法人とよなか国際交流協会」で検索

開館時間: 午前9時~午後9時30分 / 業務受付時間: 午前9時~午後8時 休館日: 毎週水曜日、年末年始
 アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分(阪急梅田駅から急行で11分)
 地下3階に有料駐車場有り(210台)、1階に有料駐輪場あり(自転車・バイク)

編集・発行 公益財団法人とよなか国際交流協会(とよなか国際交流センター指定管理者)

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-601 とよなか国際交流センター

E-mail: atoms@a.zaq.jp http://www.a-atoms.info



●アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分